彦根東高校新聞

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

抜きつ抜かれつ大接戦

燃えるアルプススタンド No.3

7回裏

7回表で東高は1点を入れ、習志野高校とならんだ。そのことについて聞くと、武富由夏さん（1―6）と前田あかねさん（1―6）は「すごくうれしい。それしか言葉がない」、「泣きそうになった。逆転してもう一回甲子園に来たい」と喜びを示した。また、指揮の木下希さん（2―8）は「体育館と違って金管楽器の位置が遠い。点を取ったときに喜びたいのですが演奏しなければいけないので大変」と苦労しているようだったが、ブラスバンド部部長の加藤充穂子さん（2―8）は「音がはしったり、止まったりして難しい。でもみんなが頑張ってくれるのでこのまま最後までいけそう」と全体としては順調な様子だった。7回裏では逆転を許したが、これに対してチアリーダーの廣部直子さん（1―6）や澤野真歩さん（2―2）には「早く攻撃の応援をしたい」、「絶対逆転すると信じている。選手に届くよう応援したい」と諦めの色は1つもない。

▶中学生も頑張ってます

8回裏

8回の表で東高は見事逆転を果たした。応援団長の永福剛史君は「こうなると信じていた。あとは気持ちの勝負だ。プレーヤーを後押しする応援をしたい」と話し、野球部員の山中和人君は「勢いがついて、流れが東高に来るような点だと思う」、勝木綾さん（2―5）は「声もかれてきて叫べないくらいうれしい」、柴田渉君（2―2）は「最高です」、山田拓君（1―1）は「点を取り返してすごくうれしい」、込山大貴君（1―2）は「テンションがあがっている」と興奮した面持ちだった。青木教頭先生も「歴史に残る1点でうれしい。ねばりを見せた赤鬼魂だと思う」と喜んでおられた。この回は応援団の勝利への願いがひしひしと伝わってきた回だった。

◀歓声をあげる野球部員達

9回裏

最終回は同点で迎えられた。そのため9回の裏では、もう点はやれない状況となった。この状況で藤田延代先生は「とにかく最後までねばってほしい。点をやらないように頑張ってほしい」と話してくださった。また、応援に来てくださったOBの方々も「健気に頑張っているのが伝わってくる。負けないで、全力で最後まで頑張ってほしい。それだけが願いです」「頑張っておさえて延長戦にもちこんでほしい」「いい試合をしている。絶対頑張ってほしい」と切実に願っておられた。

今回の甲子園では、多くの人が1つになって応援をしていた。結果は残念だったが、とてもいい試合であり、楽しかったと誰もが感じているようだった。

（NO．4に続く）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
彦根東	0	0	0	1	0	0	1	2	0
習志野	0	0	0	0	0	2	1	1	1